

KOUNAN SMILE

～江南ラミネートを取り巻くすべての人たちに笑顔を～

vol.120
2026.9

10月17日
ポップコーン実演会
オープンファクトリー
に向けて
予行練習
します！



いつも想定以上！～普段の仕事+αに取り組んでくれることに感謝

8月3日の惣開公民館イベント、8月22日の「子ども食堂アフターランチ」。ともに3年目ともあり、年々パワーアップしながら、運営もどんどんスムーズになっていてすごいです！皆さん、お疲れさまでした。子ども食堂イベントの様子は号外でお楽しみください♪

当社には、広報部や地域活性化部といった専門部署はありません。こうした活動は、主に事務所メンバーが中心となって進めてくれます。イベントごとに担当リーダーを決めたら、あとはお任せです。リーダーを中心に役割分担し、協力し合いながら主体性と自主性で形にしてくれます。普段の業務と並行して準備を進め、現場の皆さんにも協力をお願いし、全社を巻き込みながらひとつの形にしていく。その労力は大変なものだと思います。それでも、いつも想定以上のものに仕上げてくれるので驚かされます。「自分の仕事はここまで」と枠を決めず、新しいことにも挑戦してくれる、そんな社員の皆さんがいることに、改めて感謝です。 by きよこ

出前授業 ～惣開公民館～ 8月3日

新居浜市の惣開公民館で、今年で3年目となる出前講座を開催。小学生38名と、ボランティアの中高生15名

紙パンチによる強度体験や水鉄砲を使った防水体験など定番メニューに加え、今年は紙クロスを使った運搬ゲームや素材をより体感してもらう相棒探しゲームなど新しいプログラムも実施。遊びながら、紙加工によって生まれる「強さ」や「防水性」などを体感してもらいました。今回の体験を通して、紙の面白さや江南ラミネートの加工技術を少しでも身近に感じてもらえていたらうれしいです。



紙飛行機大会



運搬ゲーム



パンチで強度体験



紙のおはなし



ゲーム：相棒を探そう！



水鉄砲で防水体験

夏の大掃除 ～かき氷、お中元くじ～ 8月10日

お盆休みを前に、恒例の夏の大掃除を行いました。この日は、1週間後に控えた「子ども食堂アフターランチ」の予行も兼ねて、当日のかき氷担当メンバーがみんなにかき氷を振る舞ってくれました。お昼はレモンハウスのお弁当、最後は恒例のお中元くじ！



8月2日 書道パフォーマンス甲子園観覧

100校を超える高校が参加し、予選を勝ち抜いた22校が聖地・四国中央市で優勝を争います。出場する高校生たちは息子と同年代。堂々とした姿や作品を通して自分自身と向き合う姿に感動させられました。来年は地元高校の出場に期待したいですね！

8月22日 企業発見ライブ2026

30社が出展し、高校生を中心とした学生の皆さんに、仕事や取り組みの紹介をしました。「四国中央市にはこんな企業や大人がいる」と知ってもらうことも、地域貢献のひとつ。今回の出会いが、地元企業を知り、将来の選択肢を広げるきっかけになれば嬉しいです



8月5日 第4回かわしんビジネスクラブ

AIを活用した脱炭素やコスト削減をテーマに、業務効率化や省エネにつながる最新の取り組みについて学びました。地域企業25社が参加し、今後の事業活動にも活かせる有意義な機会となりました。

8月3日 第5回管理職研修 in 高松

今回は「チームビルディング」と「ヒアリング」について学びました。ゴールを共有することの大切さや、面談で相手の考えを引き出す質問の仕方など、日々のマネジメントに活かせる内容を実践的に学ぶ機会となりました。次回はいよいよ最終回。これまでの学びを現場での実践につなげていきます！

8月17 第13回 オープンファクトリー「アメンバ」mtg

チラシやHP、工場見学でもらえるオリジナルカード、予約方法などについて話し合い、楽しい企画も少しずつ形になってきています。来場者の皆さんに「来てよかった！」と思ってもらえる一日にできるよう、みんなでWAKU Fesを盛り上げていきましょう！

8月26日 WEBマーケティング定例会

7月は、初回購入後のリピート率が過去最高となり、継続してご利用いただくお客様が増えています。また、オリジナルサイズやオリジナル印刷へのお問い合わせも増加。今後もお客様のニーズに応じた対応を進め、リピーターの増加と売上の安定・拡大につなげていきます。



歓迎会 ～部署編～

全社での歓迎会を終え、お次は配属された部署でも歓迎会。普段の工作中とは少し違った雰囲気の中で、ゆっくり話す時間でもでき、お互いの距離もさらに縮まったのではないのでしょうか^^



カツ社長がゆく」の巻

◆人との出会いが、新しい世界をつくる

暑い夏、江南ラミネートの地域貢献活動も熱かったですね！
8月は、新居浜市の惣開公民館で小学生向けの「紙で遊ぶ出前講座」、そして「子ども食堂あか」との連携による「紙で遊ぶ夏休みイベント」を開催しました。
惣開公民館とご縁は、愛媛県教育委員会のイベントで、私が出前講座の事例発表をしたことがきっかけでした。それを聴いてくださった館長さんから「ぜひ夏休みに公民館で開催してほしい！」と熱烈なオファーをいただきました。また、子ども食堂あかさんとは、事務所のメンバーが配膳のお手伝いをするボランティア活動を続けていたことから「食事の後に子どもたちが楽しめるイベントを」と依頼をいただきました。普段の業務とは違う世界へ一歩踏み出したことで、新しい人との出会いが生まれ、そこから江南ラミネートにも新しい世界が広がっています。人との出会いには無限の可能性があると改めて感じています。

◆社員のアイデアで毎年進化

どちらのイベントも今年で3回目となりました。毎年、社員のみなさんが企画から準備、運営まで取り組み、前年の反省点を改善しながらブラッシュアップしてくれています。
今年も『日本一の紙のまち』ならではの、紙を使った新しい企画が続々と登場しました。紙クロスをソリに見立てた「運搬ゲーム」、製品のカットサンプルを使った「相棒探しゲーム」、紙管を活用した「輪投げコーナー」、紙製の

◆「ゼロイチ」を積み重ねる

「ゼロイチ」とは、何もないところから最初の形をつくることです。
今までやったことのないことに挑戦するには勇気があります。前例がないからこそ否定されたり、意義を理解してもらえなかったりすることもあります。しかし、現状に安住し、何も行動を起こさなければ大きく成長することはありません。会社や組織が次のステージへ進むためには、現状という目の前の壁を力を合わせて越えていく必要があります。
自分たちでは気づきにくいかもしれませんが、江南ラミネートは着実に成長しています。この数年、私たちはいくつもの「ゼロイチ」に挑戦してきました。そして今、新たなステージに立とうとしています。お取引先のみなさまをはじめ、行政や地域のみなさまとのつながりが自然と増えていることも、その証だと感じています。
今回の地域貢献活動も、一歩踏み出したことから人との出会いが生まれ、社員のみなさんが知恵を出し、続けてきたからこそ今があります。社員のみなさん、自信を持って、今進んでいる道をこれからも共に歩んでいきましょう！ 克晴

リアルな魚が大人気だった「釣り堀コーナー」、絢爛豪華な紙を使った「くじびきコーナー」など、社員のみなさんの柔軟な発想に私自身も感銘を受けました。こうした活動は、コツコツと続けることに意義があります。同時に、マンネリ化させず、毎年アイデアを持ち寄り進化させていることが本当に素晴らしいと思います。その努力が実り、多くの市民のみなさんに江南ラミネートを知っていただくとともに、イベントを楽しみにしてくれる子どもたちも増えています。